

## 軟式野球の普及・発展に貢献 全日本軟式野球連盟表彰

松浦市軟式野球連盟に所属する松本強<sup>つよし</sup>さん（志佐町・中町、71歳）と辻田直太郎<sup>つじたなおたろう</sup>さん（志佐町・上高野、57歳）が、全日本軟式野球連盟名表彰を受賞しました。

松本強さんは、昭和58年度から平成12年度までの18年間松浦市軟式野球連盟の事務局長として平成13年度から現在まで理事長として同連盟をけん引されています。また、県の連盟においては、昭和58年度から平成14年度までの20年間は評議員として平成15年度から現在まで理事として、それぞれの立場で、軟式野球の普及・発展に尽力されたことが評価されての受賞となりました。

辻田直太郎さんは、昭和62年度から、本市軟式野球連盟審判部に所属され、平成15年度からは、本市連盟審判部部長および県軟式野球連盟審判部代表委員を務められています。地域の軟式野球の普及・発展、さらに審判員の技術力の向上に貢献されたことが評価されての受賞となりました。

お二人は、今後も野球場の完成に期待を寄せるとともに、さらなる軟式野球の普及や発展、競技力の向上に貢献したいと決意を述べられました。



▲松本強さん

▲辻田直太郎さん

## 第30回都道府県対抗 ジュニアバスケットボール大会準優勝

JX-ENEOS 第30回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2017が3月28日～30日、東京体育館を主会場として開催され、長崎県選抜チームが準優勝に輝きました。本市から、志佐中学校1年生の松永陽大<sup>はると</sup>さんが出場し、活躍しました。

松永さんは、小学2年生からバスケットボールを始め、志佐小バスケットボールクラブが平成27年度全国制覇を成し遂げた際のメンバーです。

今大会では、予選リーグは、秋田県・香川県に勝利し、決勝トーナメント1回戦で山形県、2回戦で沖縄県、準決勝で新潟県と対戦して勝ち進み、決勝では惜しくも神奈川県に57対59で敗れました。

松永さんは、「長崎県代表に選ばれるだけでなく、夢の舞台に立てて嬉しかったです。『志佐中、松永陽大』と名前を呼ばれたときは感動しました。来年もまたセンターコートに立てるように頑張ります」と話しました。



▲後列右3番目が松永さん

## 全国高校選抜大会ダブルで快挙！！

山口伊吹さん、高尾貴美歌さん

鹿町工業高校3年の山口伊吹<sup>いぶき</sup>さん（今福・北東3）が、3月26日～29日に、熊本県山鹿市および福岡県久留米市で行われた全国高校選抜自転車競技大会に出場し、女子ケイリンで見事優勝。女子500<sup>㌢</sup>タイムトライアルでも6位、ロードレースで4位に入賞しました。

また、同じく同大会に出場した鹿町工業高校3年の高尾貴美歌<sup>きみか</sup>さん（御厨・御厨団地）は、女子スクラッチで4位、インディビジュアル・パーシュートで5位、ロード・レースで6位に入賞し、両名の活躍で見事「女子総合優勝」を果たしました。

昨年の取材で、「春の大会での優勝を目指したい」と目標を語ってくれた2人が快挙を成し遂げました。

思いを形にした2人は、さらなる成長に意欲をみせています。

山口さんの目標は、低速域からの加速力を強化し、苦手な500<sup>㌢</sup>でタイムが出せるようになること。「トップスピード、レース展開の読みは充分全国トップレベルにある」と顧問の先生も太鼓判を押すほどで、ケイリンの戦法の幅を広げ、競争力に磨きをかけます。

高尾さんの目標は、積極果敢なレース運び。フィジカルな素質は十分にあり、集団の中でも物怖じしない度胸もあるので、今後積極的にレースを作っていけるようになれば「優勝」の二文字も見えてくるとチームも期待を寄せています。

高校生活最後の年、夏に開催される県の高校総体やインターハイに向け、すでに動き出しています。



▲高尾貴美歌さん(左)と山口伊吹さん(右)



## 松浦フェニックスSBCが九州大会初出場で3位

第27回全九州小学生選抜男女ソフトボール大会が3月25日～26日、鹿児島県南九州知覧平和公園を主会場として開催され、長崎県代表として松浦フェニックスSBC（吉福<sup>かおる</sup> 郁 監督、コーチ2人、選手19人）が出場し、3位に輝きました。同クラブは、今福・上志佐・星鹿小学校の3校合併チームで、週3回の合同練習を行い活動しています。

今大会では、1回戦は、大分代表の明野日の出ソフトボール部に9対3で勝利、2回戦で鹿児島県代表の育英ソフトボールスポーツ少年団に3対0で勝利、準決勝は同県対決となり長崎フレンズに0対5で敗れましたが、選手たちは互角に戦える自信を手に入れました。

